

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成27年度第9回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成27年12月17日(木) 18時30分から20時00分まで			
開催場所	墨田区役所 12階 122会議室			
出席者数	<p>[委員15人] 阿久沢委員 宇田川委員 笠貫委員 栗原委員 小木曾委員 佐野委員 島崎委員 清水委員 永岡委員 野島委員 本間委員 柳委員 横井委員 吉田委員 渡辺委員 [事務局4人]、環境保全課長、環境管理担当主査及び職員二名</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 第二次すみだ環境の共創プランについて 2 すみだまつりについて			
配付資料	第二次すみだ環境の共創プラン原案 タウンミーティング案内			
会議概要	<p>第二次すみだ環境の共創プランについて 事務局から今日までのプランの策定状況を報告し、各委員から意見を聴取した。</p> <p>意見交換における主な意見(:事務局発言 :委員発言) プランを見ると、安心安全と言っているが、「安全」が抜けて「安心」で全て通してしまっているように感じる。千年に一度の震災があり、以前では考えられないことが次々と起きている現在においては安心の前に安全を考えないといけないのでは。</p> <p>プラン本編の2ページ目に近年の環境問題の動向が書かれているが、もっと現実の厳しい現状も書いた方がいいのではないか。プランを読んだ印象としては全体的に温かく感じられるが、厳しいことも書かないと温かいだけのものになってしまう。</p> <p>温室効果ガスの排出量の件について、11ページのところで平成12年に比べて平成24年は7.4%プラスだが、京都議定書の発効された年(2005年)を基準にした場合は13.9%のプラスとなる。今、温かいだけのプランだという意見が出たので、このようなことを書いた方が、より緊張感が増すのではないか。</p> <p>日本は人口減社会になるので、人が減ったから排出量が減ったという</p>			

のではおかしい話になる。

また、部門別の削減目標については東京都の発表資料を参考にすることだが、東京都の資料に合わせるということは、どこか逃げているようにも感じられる。東京都と墨田区は別の組織なので、合わせる必要はないのではないか。

東京都を構成している一市区町村なので、東京都の削減目標より下げるわけにはいかない。東京都と同じ目標を設定し、一緒にやっていくことを基本に考えている。

昔、石原都知事の時代に緑の輪を東京に作るということを発言した。緑のベルトという考え方は重要で、観光にも使え、災害時には延焼を防ぐ防火壁になる。緑化の問題は、もっと観光や防災の問題と結びつけた方が資金も流れてきやすくなるのではないかと。

素案の段階なので当たり前かもしれないが、なかなか具体的ものが書かれていないのが残念である。前のプランと同じようなことをやっていて、目標が達成できるのか疑問である。

今回、水素が新たに加わっているので、例えば調達エネルギーを全て水素や自然由来のものにするなど、もっと大きな目標を持ってもらいたい。

これまでのものと変わらないという指摘があったが、将来、どのような技術が開発されるかは現時点で分からないので、柱としては従前のものを踏襲し、具体的な新技術や新しい仕組みについては毎年の事業をやる中で、取り入れていきたい。

生物多様性については、すみだの森と書かれていて非常に期待が持てるが、国立競技場みたいに緑のドームにするなど、森を作ってすみだの森を入れて頂いたことはありがたい。

また、他の自治体では入れ歯や靴の回収もやっていると聞く。すみだでも同じように面白いことをやってみたらどうか。良いことかどうかはともかく、目玉になるのではないかと。

意見が3点ある。一つ目はスマートエネルギーが世間に定着している言葉なのかということ。二つ目は、基本目標3-2具体的な行動の中にクリーンキャンペーンが入っているが、これは廃棄物の適正処理と関係が無いように感じられ、基本目標4-1の安全安心なまちづくりの方に入れるべきではないかと。三つ目は、重点プロジェクト5の中の「スポーツゴミ拾い」という文言は、どこかの環境団体が使っている事業名なので、載せるのはまずいのではないかと。

スマートエネルギーという言葉について、審議会では使われているが、定着させたいという思いも多少含まれている。クリーンキャンペーンについては、不法投棄までを意識しているので、3-2に入れた。これだけ見れば言葉が足りないという印象も与えかねないので、標記については検討する。また、最後の指摘についても確認し、対応したい。

37ページで、表題はまち全体と言っているのに、施策の方向性になる

と、個々の建物の話だけになってしまっているのが、まち全体ということも追加した方が良いのではないか。また、東京都の言っているスマートエネルギー都市の定義には防災性も含まれているが、墨田区も入れた方が良くと思う。また、65ページの重点プロジェクトで、太陽光発電のみが指標に取り上げられているが、熱効率としては太陽光よりも太陽熱の方が効率がよい。そちらを入れる予定はないのか。最後に、プランの推進体制について、区民会議が区民の代表のように書かれているので、どこかに区民を書いた方が良くと思う。

太陽熱については、事業の中で実績が大変少なく、指標にしづらい部分がある。表現方法を検討したい。

個別目標3-2に路上喫煙防止対策が書かれているが、墨田区はたばこのポイ捨てに関して、罰則付きの条例を定めることは考えてないのか。

区は、罰則で縛るよりも、マナーを守っていただくよう呼びかけるスタンスのため、現時点では罰則を定める予定は無いようである。

荒川クリーンエイドに参加して川を掃除しているが、葦の間にいろいろなごみが流れ着いたり投棄されたりしているので、河川をきれいにする取り組みもやって頂きたい。

今後5年、10年先を考えた場合、環境問題は観光や国際化も絡めていかないと、周知が難しくなるのではないか。以前私は、ソラマチがいろいろな事をやっているのので、そこでの協働を提案した。今後も、コラボができるとおもしろい。環境問題に対する新しい対応というものもみんな考えていきたい。

5つの目標は、前例踏襲という印象がある。先ほど、観光という意見が出たが、国も観光立国を目指しているのので、前の計画と差別化を図る意味でも、景観というものを目標の一つに入れても良いのではないかと提案したい。

また、エコポイントについて、電気、ガスは実施しているが、水道はやらないのか？

メニューを増やすことについては検討している。

環境問題は範囲が広すぎるので、この中でも特にどこに力をいれるのか、何をやりたいのかをもっと絞って具体化していただきたい。

スカイツリーは環境に優しい墨田の観光拠点であり、情報発信していきたい、と前の区長は言っていた。墨田区の環境をアピールしていくのに観光は大きな力になる。

安全というキーワードについて、すみだまつりでアンケートを取ったが、最近では災害に関する関心が高まっている。墨田の環境を考える上でも防災という視点が重要であり、何らかの形でプランに盛り込んで頂きたい。

また、プランで言っている「環境にやさしいすみだ」とは何なのかを考える必要があると思う。住民一人あたりの電力使用量や二酸化炭素排出量が低いとか、環境に関心を持っている人が多いとか定義はいろいろあると

	<p>思うが。</p> <p>内部でいろいろ話し合っこの目標を決めたが、一人ひとりが環境配慮行動を実践する墨田区というものが、環境にやさしいまちすみだであると考えている。</p> <p>そうであれば、環境活動を実践する人が育つまちが基本目標5に来ているが、人材育成というものは本来一番初めに来る目標ではないかと考える。</p> <p>多くの人に知ってもらうためにも、墨田区の広報にプランのことを定期的に取り上げてもらい、周知を図れるとよい。サポーターとして活動しているが、人手が足りていない。環境配慮行動を実践する人が増え、サポーターの人数も増えるようになってほしい。</p> <p>時間の関係もあるので、プランについての意見聴取はここで終了とする。本日発言しつくせなかったことや、後日、新たに気づいた点があれば、25日までに環境保全課に意見の送付をお願いしたい。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5462